



IPv4アドレス枯渇！どうする？ パネルディスカッション

ポリシーWG
JPOPM



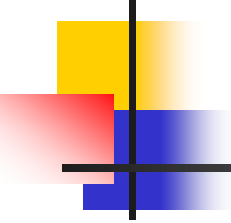
ディスカッションのポイント

- IPv4消費は予測通りか？
- IPv4は使い切るまで、現行ポリシーのまま
でよいのか？
- 混乱のない最終割り振りってどうすべき？



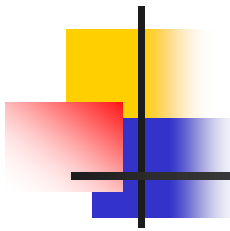
1. IPv4消費は予測通りか？

- JPNIC提言から半年、予測どおり？
- 実際にIPv4はどれだけ残っている？
→確認
- 予想通りだと、いつごろ使い切る？
→確認



2. IPv4は使い切るまで、 現行ポリシーのままでもいいのか？

- RIR/NIRはどう考えている？
 - 考えある？ 何にも考えてない？
- アドレス申請側はどう考えている？
 - ポリシーが変わっても平気？



3. 混乱のない最終割り振りは どうするべき？

- どの様にIPv6割り振りのみに移行する？
 - 移行ステップは？ 移行期間は？
 - レジストリからIPv6取得推奨する？
 - アドレス申請側への周知はどうすべき？
 - リードタイム(周知期間)はいまからで十分か？
 - 足りないときはどう時間を稼ぐ？
 - 世界一斉切り替えか？



まとめ

- 消費は予測通りか？
 - いまのところ予測どおり(JPNIC提言時から)
 - 一次関数推測でも枯渇時期は2012年！
 - これでも楽観的かも
- ポリシーはこのままでよいのか？
 - RIR/NIRはどう考えている？
 - 公平性の重視: 特にLast Minute Fairness
 - 「特許申請」モデルのアイデア
 - 最後の1つが取られるときはオープンにすべき
 - でも割り振り基準は変わらないほうがいい(という意見も)
- 混乱のない最後の割り振りにむけて
 - リザーブ少しは残すのが混乱回避になるか、、、
 - 数を決めるより時期を決める方が妥当だろう
 - リードタイムは3年? 国際的にそれでよい?
 - IPv6しかもらえない事業者への配慮も必要
- 今後
 - JPNICがリードして議論を推進する体制を検討する
 - まずはAPNICにもって行って議論を開始する